

NO43前提(夏ねぎ普通)

043	白ねぎ(夏・砂地・普通)
-----	--------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	白ねぎ(夏・トンネル) 15a、白ねぎ(夏・普通) 10a、白ねぎ(秋冬・普通) 20a、白ねぎ(秋冬・遅出し) 15a、白ねぎ(春・一本) 30a、白ねぎ(春・坊主知らず) 10a、緑肥50a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目		○	～	○	……	◎	～	◎	——	□	□	□	□
2年目													

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	30 m <sup>2</sup>	1,890,000	10	189,000	189,000	15	12,600	8	88,200	100	3,528
収納庫(車庫)	木・瓦	30 m <sup>2</sup>	1,890,000	10	189,000	189,000	15	12,600	8	88,200	100	3,528
パイプハウス	6m×15m	1 棟	526,500	10	52,650	52,650	10	5,265	5	26,325	100	1,053
トラクタ	4WD, 25ps	1 台	2,870,640	10	287,064	287,064	7	41,009	4	123,028	100	4,921
ロータリ	160cm幅	1 台	475,200	10	47,520	47,520	7	6,789	4	20,366	100	815
管理機	6ps	1 台	304,500	10	30,450	30,450	7	4,350	4	13,050	100	522
管理機(堀取り)	3.5ps	1 台	223,560	10	22,356	22,356	7	3,194	4	9,581	100	383
皮剥機一式	1セット(3相電動式)	1 台	567,000	10	56,700	56,700	7	8,100	4	24,300	100	972
移植機(1条植)	1 台	1 台	1,009,050	10	100,905	100,905	7	14,415	4	43,245	100	1,730
動力噴霧機	6ps, 可搬式	1 台	281,880	10	28,188	28,188	7	4,027	4	12,080	100	483
エンジンポンプ	1セット	1 台	180,765	10	18,077	18,077	7	2,582	4	7,747	100	310
エアコン	配線込み	1 台	150,000	10	15,000	15,000	7	2,143	4	6,428	100	257
剪葉機	1 台	1 台	312,900	10	31,290	31,290	7	4,470	4	13,410	100	536
軽トラック	4WD, 5MT	1 台	1,050,000	10	105,000	105,000	4	26,250	2	52,500	100	2,100
合計			11,731,995		1,173,200	1,173,200		147,794		528,460		21,138

NO43技術(夏ねぎ普通)

技術体系(10a当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
白ねぎ	夏扇4号・吉蔵	夏ねぎ(普通)	3,000kg	排水良好地	10a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間		燃 料 消費量 (%/10a)	
作業名						機械利 用時間	組 員 時 間		
<無トンネル> 苗 準 備	1 1 上	セル成型トレイ(200穴) ネギ用培土 マイクロロング 水稻育苗箱	55枚 180% 1,800g 55枚	人力	培土にマイクロロングを均等に混和 (窒素量の調整)		1	4.0	
播 種	1 1 上	コート種子 覆土材 播種板、鎮圧ローラー	44,000粒 75% 75%	人力	1穴4粒播き 播種時の灌水は培土全体に浸み込むよう 時間をかけて行う		1	8.0	
育 苗	1 1 上~2下	芽出し用農ポリ 保温用農ポリ  ダコニール1000	10m 10m  150ml	人力  人力 エンジンポンプ 剪葉機 人力	ビニルハウス内に育苗箱を並べる 低温による生育遅延を回避するため、 透明ポリをべたかけし、その上に透明ポリ でトンネルし、保温する 出芽後、全て被覆を除去し、薬剤処理 かん水過多による過湿に注意 苗の葉先を切り、倒伏防止(計3回) 育苗中は常に換気に努める		1	36.0	ガソリン 18.0L
本ほ土壤消毒	1 0 下~1 1 下	ディトラベックス油剤	30L	トラクタ ロータリー 土壤消毒機	耕耘 土壤消毒機で薬剤注入 2~4週間後にガス抜き	1.0 2.0 1.0	1 1 1	6.0	軽油 9.0L ガソリン 2.0L
基 肥 施 用	1 下~2 上	タイフミン 高度苦土石灰 BM重焼リン はまグリーン	3,000kg 80kg 20kg 30kg	軽トラック トラクタ ロータリー 人力	堆肥、土壤改良材 耕耘	5.0 2.0	1 1	12.0	ガソリン 5.0L 軽油 9.0L
定 植	2 下			管理機 全自動移植機 人力	植え溝は底面が水平になるよう丁寧に作業 セル間隔9cmで定植 欠株の補植や倒伏した株を修正	0.5 3.5	1 1 1	6.0	ガソリン 4.0L
追 肥	3 上~6 中	スーパーIBS222 燐硝安加里S552 有機はま1号 硫加	30kg 20kg 90kg 20kg	人力	追肥①定植時、活着後 追肥②定植1ヶ月後 追肥③定植2ヶ月後 追肥④定植3ヶ月後 追肥⑤最終土寄せ時状況をみて		1 1 1 1 1	5.5	
土 寄 せ	3 下~6 中			管理機 人力	4回 止め土	12.0	1 2	16.0	ガソリン 12.0L
防 除	2 下~7 上	トップジンM水和剤 ダントツ粒剤 ロブラール水和剤 スミレックス水和剤 ジマンダイセン水和剤 モンカットフロアブル40 ウララDF ハチハチ乳剤 アミスター20フロアブル フォリオブラボ顆粒水和剤 ディアナSC ミックスパワー	110g 10kg 150g 300g 750g 150ml 75g 150ml 75ml 150g 30ml 350ml	人力 人力 動噴 軽トラック	①定植前箱灌注 ②スミレックス水和剤1000倍 ③ジマンダイセン水和剤600倍+スミレックス水和剤 1000倍、ダントツ粒剤4kg ④ジマンダイセン水和剤600倍、モンカットフロアブル40 2000倍、ダントツ粒剤6kg ⑤ジマンダイセン600倍+ウララDF2000倍+ハチハチ乳剤 1000倍、モンカットフロアブル40(株元散布) ⑥病害発生状況をみて	2.0 2.0 4.0 2.0 2.0	1 1 1 1 1 1	14.0	ガソリン 12.0L
除 草 管 理	2 下	ゴーゴーサン乳剤30 又はクレマート乳剤	300ml	動噴	定植後雑草発前、但し定植10日後までに 散布	1.0	1	2.0	ガソリン 1.0L
収 穫・ 抜 き 取 り 梱 包	7 上~8 中	便利クロス(コモ)		堀取り管理機 人力	畝崩し 抜き取り・枯葉除去・コモ包み	4.0	1 1	44.0	ガソリン 4.0L
積 み 込 み・ 運 搬	7 上~8 中			軽トラック	積み込み・運搬	10.0	1	10.0	ガソリン 10.0L
調 製・ 箱 詰 め	7 上~8 中	段ボール 結束テープ クラフトテープ 規格テープ 規格シール	750箱	人力 皮はぎ機 人力・結束機 人力 人力 エアコン	根葉切り 皮はぎ・荒選別 選別・結束 箱作り 箱詰め 高温により軟腐病が発生するため、室温を 下げて出荷まで保管する	100.0	1 1 1 1 1	300.0	電気440kw
出 荷 残 さ 処 理 片 づ け	7 上~8 中 7 上~8 中 8 下			軽トラック 軽トラック・人力 トラクタ	集荷場へ運搬(日よけ等で品温上昇に注意) 運搬、適切に処理 耕耘	20.0 10.0 2.0	1 1 1	20.0 10.0 2.0	ガソリン 20.0L ガソリン 10.0L 軽油 9.0L
合 計								495.5	

経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,164,000	生産量①: 3,000 kg 単価②: 388 円/kg	
	主産物価額	0	生産量: 単価:	
	主産物価額	0	生産量: 単価:	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,164,000		
生産	種 苗 費	28,638		
	肥 料 費	53,265	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	57,163	〃	
	諸 材 料 費	26,393	〃	
	動力光熱費	34,244		
	農 具 費	32,102	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	5,279	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	1,300		
	共 済 掛 金	150		
	雇 用 労 賃	23,850		
	減価償却費⑤	147,794	別表のとおり	
	土地改良費	3,000		
	支払地代⑥	4,400		
	小計 (B)	417,577		
費	販売費一般	出荷資材費	76,930	
	管理費	販 売 諸 費	250,156	
		諸税負担金	2,014	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,765	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	0	借入資本利率2%
		小計 (C)	332,865	
経 営 費 (D)	750,442	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	611,780	農 従 労 働 時 間: 470.0 生産管理労働時間 0.6 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,362,222	主産物単位当たり 454 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	24,289	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
	固定資本利子	21,138	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	6,600			
全算入生産費 (H)	1,414,249	生産物単位当たり 471 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	413,558	時間当たり 879 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	36	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-250,249	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	361,531	時間当たり 768 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-198,222	注) (M) = (I) - ⑧		

